

更生保護制度

問題 147 保護観察に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護観察処分少年の保護観察の期間は、少年の希望を反映して決定される。
- 2 保護観察所の長は、保護観察処分少年について、保護観察を継続する必要がなくなつたと認めるときは、保護観察を解除する。
- 3 保護観察所の長は、少年院仮退院者について、少年院に戻して収容する旨の決定をすることができる。
- 4 仮釈放を許された者は、仮釈放の期間満了後、保護観察に付される。
- 5 懲役刑の全部の執行を猶予された者は、被害者の請求により保護観察に付される。

問題 148 事例を読んで、X保護観察所が行うことができる措置に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

少年院に収容されているMさん(17歳)は、親元に帰住することが難しいため、親元以外への帰住を希望している。X保護観察所はどのような措置をとるか検討した。

- 1 Mさんの少年院入院中に、釈放後の住居を確保することを調整する。
- 2 Mさんの仮退院を許可する。
- 3 Mさんの仮退院時に特別遵守事項を定める。
- 4 Mさんの少年院入院中に、一般遵守事項から住居に関する事項を削除する。
- 5 Mさんの仮退院時に保護観察期間を定める。

問題 149 更生保護における就労支援に関わる機関・団体に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 保護観察所は、保護観察対象者の補導援護として、必要に応じて職業のあっせんを行っている。
- 2 保護観察対象者は、公共職業安定所(ハローワーク)において、補導援護を受けることが義務化されている。
- 3 公共職業安定所(ハローワーク)は、協力雇用主に対し、保護観察対象者の雇用を命ずることができる。
- 4 保護観察所は、協力雇用主に対し、刑務所出所者のみを雇用することを命ずることができる。
- 5 公共職業安定所(ハローワーク)は、個々の保護観察対象者に対し、求人開拓から就職まで総合的な就労支援を行っている。

問題 150 「医療観察法」が定める医療観察制度に関する次の記述のうち、**最も適切なものを1つ**選びなさい。

- 1 対象となる行為は、殺人、放火、強盗、強制わいせつ、強制性交等及び傷害等に当たる行為である。
- 2 社会復帰調整官は、各地方裁判所に配属されている。
- 3 入院決定を受けた者に対して医療を実施する指定入院医療機関は、都道府県知事が指定した病院である。
- 4 通院決定がなされた場合、指定通院医療機関による医療を受けることができる期間の上限は10年である。
- 5 地域社会における精神保健観察は、保護観察官と保護司が協働して実施すると規定されている。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。